

1. 教育概論

- ① 理念と方向性
- ② SS教材の活用法 —Zoomオンライン講座—
- ③ 兵庫県公立入試問題の攻略法
- ④ 学力アップmemo紹介 —V 講習編—

オーナー 永井寿(内科医師)

[10:00～10:25]



① 理念と方向性



理念

教育は、人生を豊かにするもの

有るものを活かす

天賦の才を開花させる

まじめで勤勉ならば報われるシステムの実現



良いリズムを生活に導入する

人間は習慣の織物である（アミエル）

習慣は、徳性を作るものです

良い習慣を付けるか、悪い習慣を付けるかによって

全く人間が変わってまいります

安岡正篤『運命を開く』



いくせい塾が目指す塾像

社会人になってから、役立つ知恵と習慣付け

- ① 要領が悪くても、勤勉ならば必ず伸びる
- ② 学校上位3割生には、安定する勉強法を伝授する
- ③ 自助力・問題解決能力を養成する



有るものを活かす

やる気があれば、上位3割で安定する塾を実現

システムと教材は、高得点に必要な内容と分量に達しました

塾生が真摯に実践すれば、必ず実現します

実践するためには、意識改革が必要な生徒もいます



② SS教材の活用法

—ZOOM オンライン講座—



リモート指導の行方

家にいながら塾の講義が受けられる時代

- オンライン指導は、コロナ禍が一気に進めた印象があります
- 第2波の準備をするとき、後戻りは迷いの非効率を生みます
- 受験に成功する中学生に共通することは、家庭学習の習慣です
- この機会に、家庭の学習環境を整備することは有利となります
- インターネット環境の整備は、月謝と得点の変換率を上げます



オンライン講座のメリット

コロナ禍が生んだ地球規模での行動変容

- 台風災害時は、塾は臨時休校を選択していた
- 生徒だけでなく講師も、インフルエンザ状況下で対応できる
- 保護者の体調不良で、送迎が困難な時もあった
- 送迎の時間や疲れも、オンラインなら問題なし
- 兵庫県内なら、遠隔地のご親せきや友人でも紹介が可能です



オンライン講座のメリット

SS教材はデジタル仕様、Zoomでそのまま使えます

- スライドショー教材は、大画面とタブレットで効率学習が目的です
- Zoomを使用すれば、デジタル画面が鮮明に見られます
- 小画面では、教室風景や他の参加者も映し出されます
- 家庭にいて、バーチャル空間を味わうことも可能になっています
- **ハード機種、設定や契約条件により、“臨場感”に差があります**



オンライン講座のメリット

システムや指導法を再考、以前より快適で効率化します

- 以前のS1とS2に区別せず、英数日と理社日に変更しています
- Stage 1 では、学習法伝授やカウンセリングをしています
- Zoomでは、小グループや個人のみの指導も可能です
- 一斉指導だけでなく、家庭教師的な個別指導も受けれます
- Stage 1 の自習効果を活かすため、OS日程を設定しました



③ 兵庫県公立入試問題の攻略法



問いかけ

9年間、医療以外のほとんどの時間を費やした

いくせい塾は、

加古川西地区で最高レベルになっているか？



高校進学専門塾としての評価

講習が大手進学塾レベル以上になってきている

- 冬期講習後の1月実力テストで、トップレベルをキープ
- 教材の準備と選択、実践タイミングが洗練されてきた
- **いくせい流は、中学3年間の1000日でプログラムしています**
- 一貫性を継続することで、実力者への道が実現します
- **小6生1月より、中学準備コース**として**一貫指導**します



中3生 講習後 最高順位

年度	1月実力	9月実力	7月実力	進学高校
2019	10 位	6 位	19 位	加古川東高
2018	8 位	4 位	8 位	明石高専
2017	3 位	1 位	10 位	加古川東高
2016	7 位	12 位	13 位	加古川東高
2015	2 位	4 位	3 位	加古川東高(理数)
2014	88位	24位	25位	加古川北高



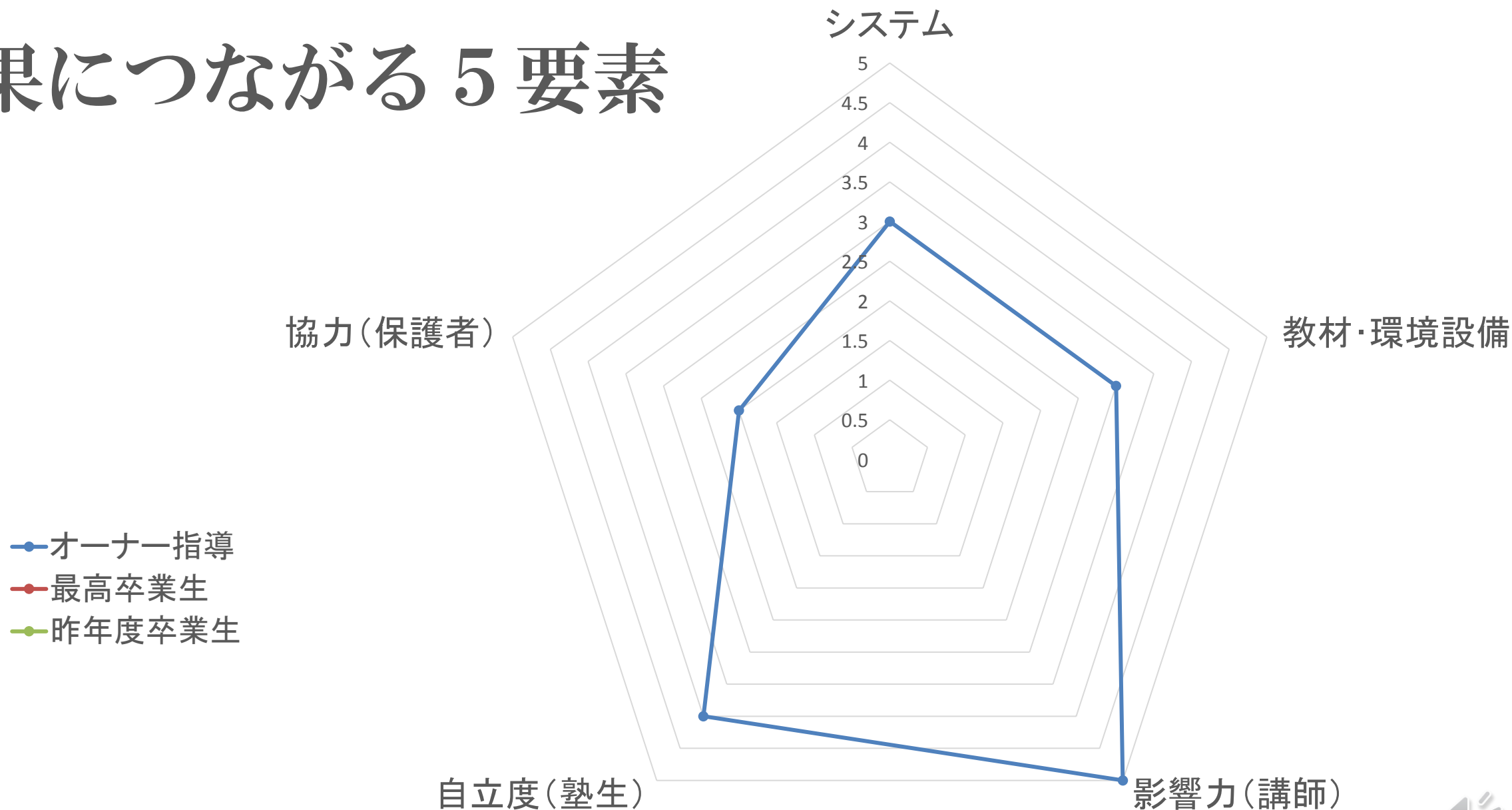
受験指導のレベル

兵庫県公立入試問題に限定した入試研究

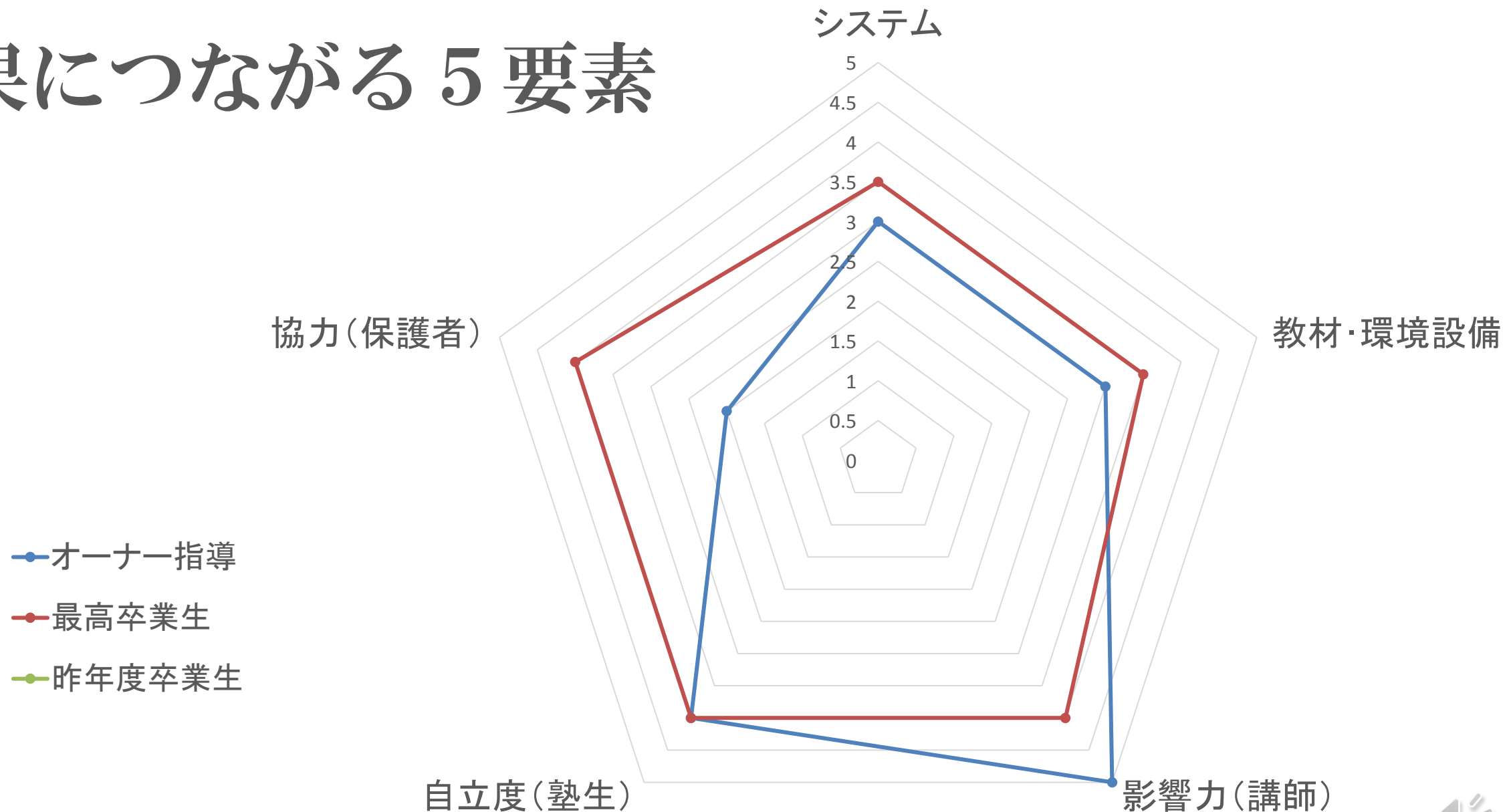
- 過去5年間、すべての入試問題の解説を作成しています
- スライドショーを使用した、**当塾オリジナル教材**です
- **個人PCの活用で、何度でも自分のペースで再確認できます**
- 数理社英は、オーナー自ら納得のいく**こだわり教材**です
- **昨年度成果が出てなかった国語は、塾長が担当します**



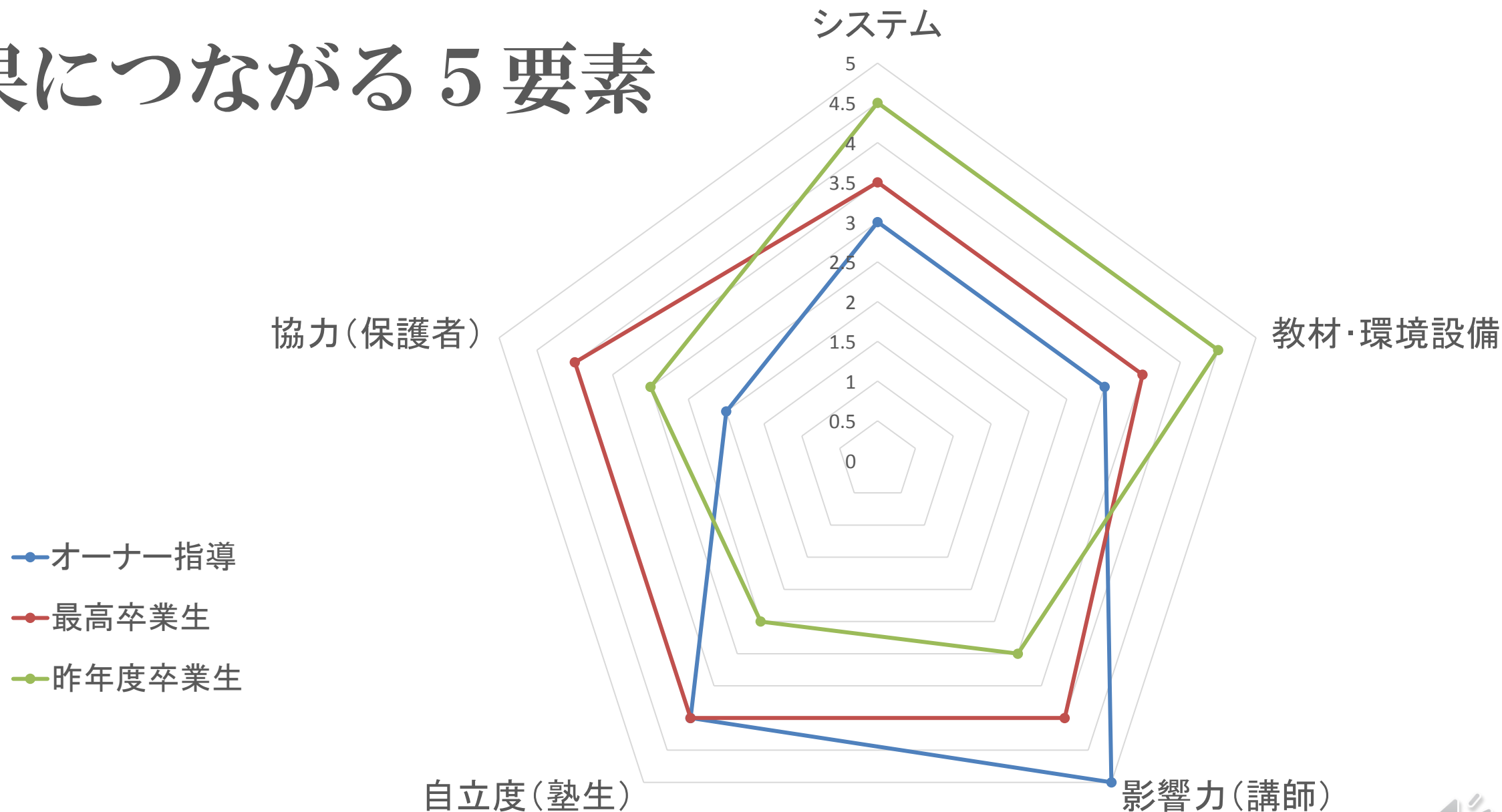
結果につながる 5 要素



結果につながる 5 要素

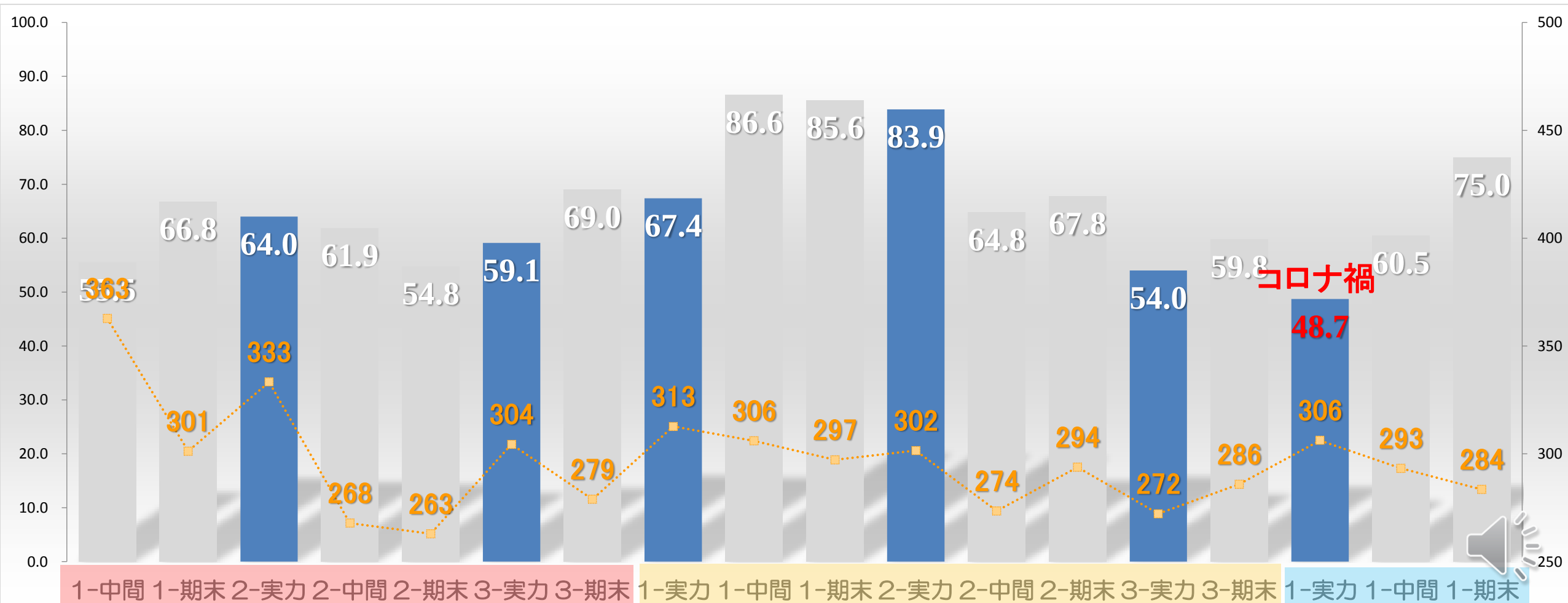


結果につながる 5 要素



中3生 学校成績推移 5教科

塾生一人当たり、学校平均との差を示します



塾長指導での課題

対策授業ができなかった実力結果を考察する

- 中1指導を丁寧にするため、早期に成績のピークを迎えます
- 対策用のSS教材が充実しているため、**軽薄な依存**が生じます
- 学習の王道は、平素のまじめで勤勉な学習態度で培われます
- **カウンセリングで、軌道修正や的確な目標設定が必要条件です**
- **自分で考え・調べて・試して・解決する姿勢を、随時表現します**



Ikusei - izum とは

できると感じた自分を信じて結果にコミットする

できない理由を並べるより

どうすればできるか

失敗を恥じず、実践してみる

目標は、早期の自立である



Ikusei-ismとは

結果を創る人と結果を創れない人の違いは？

- オリジナル教材は、新システム後に**桁違い**に良くなった
- **結果を創れない人は、できない理由を並べて時間を浪費する**
- 結果を創る人は、できるために必要なことを**考察**する
- 有限な時間を**逆算**して、計画を**修正**しながら実践していく
- 結果に**コミット**しているため、失敗したら別の方法を試す



受験講習

夏期・秋期・冬期にそれぞれの目標を設定する

- 夏期講習前に、昨年度の入試問題を実戦形式で演習します
- 夏期講習は、入試問題に必要な**基礎知識**を徹底整理します
- 秋期講習は、入試問題を各教科**単元**ごとにまとめます
- 冬期講習は、回避問題などか型ごとに**攻略法**を伝授します
- イメージ・トレーニングを実践して、**本番で実力を発揮**します



2020 Shift Chart 通常

		月	火	水	木	金	土
1F	9:30~12:00						S1
	19:00~21:30	S3	S1		(達成テスト)	S3	S3
2F	9:30~12:00						S1
	19:00~21:30	S2 (数英)	S2 (数英)	S2 (数英)	S2 (理社)	S2 (理社)	S2 (理社)
自習棟	19:00~21:30		(S1)	S1			

一斉指導で集中できない

人の目をどうしても気にして集中できないタイプ

- 過去において、悪口や陰口を言われた経験がある人
- 現在、他人の悪口や陰口を言ってしまう状態にある人
- すべきことが見つからない、見つけても逃避している状況の人
- 悪い状況下の仲間の影響を受けることは、通塾の目的でない
- やる気があればS 2を卒業して、自立型個別指導が望ましい





努力の継続が実になる！



塾生の願いは、自助力で叶います!!



④ 学力アップMEMO紹介

ー V 講習編 ー



学力アップmemo 第5章

講習編 (32) [39'54"]

原本
[5'20"]



目標設定

志望校合格のイメージ

実力テスト百人換算順位で設定している

卒業生進路と百人換算順位は、大いに参考になる
志望校の百人換算順位より、学校目標順位を設定する
実現するには、各教科の平均点差まで検討しておく

弱点克服

得点割合の低い単元

理解不十分な箇所を把握している

合計点を増やすことが、順位を上げることになる
小さな凹みを埋めるより、大きな穴から埋めていく
反省書に記した苦手な単元・問題を、徹底攻略していく

計画作成

効率的な配分と手順

完遂できるイメージまで熟考している

その日だけ頑張るより、長期休みの総学習量に意味がある
休み中の単元の配列、その日の教科の順番が効率を左右する
難しいものは、頭が疲れていない最初にする

意志力

長期休みの覚悟

前学期分の弱点を克服している

高校進学成功には、3年間の”戦略”が必要になる
知識の整理ができる期間は、長期休みに限られる
休みに入る前から、覚悟を固めていくことが行動となる

継続力

毎日淡々と実行

結果は目標まで継続すれば生まれる

才能があっても、行動しなければ結果は生まれない

行動を途中でやめれば、目標は達成できない

ただただ愚直に、言い訳を探さず、行動を継続すればよい

集中力

意志力と継続力の維持

生活の乱れが失敗原因と自覚している

時間効率は、集中力により差が生じる

精神力も体力も、健康であればこそ可能性がある

睡眠と食事を疎かにすれば、自身が“不利”になる

睡眠時間

集中学習の実現

6 時間以上は確保している

脳の神経伝達物質は、睡眠不足では十分に回復しない
能率学習を実現するには、睡眠の確保が重要となる
徹夜は、長期“戦略”として賢明な“戦術”ではない

10分活用術

学習できる最小単位

暗記数・線引き行数をイメージできる

わずかな時間でも活かせれば、学力は“飛躍”できる

10分あれば、何がどれだけできるかを自覚する

限られた時間で、最大限の成果に挑戦する姿勢である